

米陸軍トリイ通信施設におけるロープ降下訓練に対する意見書

8月6日午後、米陸軍トリイ通信施設において、米海軍のMH60 特殊作戦ヘリコプター2機からロープによる降下訓練が実施された。ヘリコプター2機は嘉手納基地から飛来し、午後6時過ぎから7時にかけて複数人の兵士が、少なくとも20回以上の降下訓練を繰り返した。

これまでいく度となく村当局と村議会からトリイ通信施設における戦術訓練を中止するよう求めてきたにもかかわらず、同様の訓練が繰り返されていることは読谷村民の人権を無視するものであり、決して容認できない。

トリイ通信施設は、沖縄返還の時から「通信施設」という使用目的・条件が日米で合意され、ヘリ着陸帯もVIP要員の移動や医療活動を行うための「管理着陸帯」である。トリイ通信施設周辺は住宅密集地であり、陸域・海域とも住民の生活の場、生産活動の場であり、安全・安心な環境でなければならない。戦術訓練は地域住民への被害が及ぶ恐れと戦争につながる訓練を想起させ、平和な生活をおびやかすものである。

よって、読谷村議会は村民の生命、財産、安全及び平穏な生活を守る立場から米軍及び関係機関に対し厳重に抗議するとともに、下記事項について、速やかに実施するよう強く要請する。

記

- 1 米陸軍トリイ通信施設での戦術訓練を禁止すること
- 2 日米地位協定の抜本的改定を早急に行うこと

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和2年8月25日

沖縄県読谷村議会

あて先

内閣総理大臣、内閣官房長官、外務大臣、防衛大臣、沖縄及び北方対策担当大臣、外務省特命全権大使（沖縄担当）、沖縄防衛局長

米陸軍トリイ通信施設におけるロープ降下訓練に対する抗議決議

8月6日午後、米陸軍トリイ通信施設において、米海軍のMH60 特殊作戦ヘリコプター2機からロープによる降下訓練が実施された。ヘリコプター2機は嘉手納基地から飛来し、午後6時過ぎから7時にかけて複数人の兵士が、少なくとも20回以上の降下訓練を繰り返した。

これまでいく度となく村当局と村議会からトリイ通信施設における戦術訓練を中止するよう求めてきたにもかかわらず、同様の訓練が繰り返されていることは読谷村民の人権を無視するものであり、決して容認できない。

トリイ通信施設は、沖縄返還の時から「通信施設」という使用目的・条件が日米で合意され、ヘリ着陸帯もVIP要員の移動や医療活動を行うための「管理着陸帯」である。トリイ通信施設周辺は住宅密集地であり、陸域・海域とも住民の生活の場、生産活動の場であり、安全・安心な環境でなければならない。戦術訓練は地域住民への被害が及ぶ恐れと戦争につながる訓練を想起させ、平和な生活をおびやかすものである。

よって、読谷村議会は村民の生命、財産、安全及び平穏な生活を守る立場から米軍及び関係機関に対し厳重に抗議するとともに、下記事項について、速やかに実施するよう強く要求する。

記

- 1 米陸軍トリイ通信施設での戦術訓練を禁止すること
- 2 日米地位協定の抜本的改定を早急に行うこと

以上、決議する。

令和2年8月25日

沖縄県読谷村議会

あて先

駐日米国大使、在日米軍司令官、在沖米国総領事、在日米軍沖縄地域調整官、
在沖米陸軍第10地域支援群司令官